

高校生や大学生が錦江町の未来を語る 対話から始まる挑戦 変人会議を開催

3月4日、ゲストハウスよろっでで学生団体MIPPE!が主宰する『変人会議』が開催され、町内外在住の高校生や県内外の大学生など約20名が参加しました。現状を変える意欲を持つ学生や大人たちが集まり、対話を通して新たな取組やそのきっかけを生み出すことをねらいとする『変人会議』。参加者たちは真剣に議論を交わしていました。



町長の秘書として1か月間インターンシップを行った福岡県在住の高校3年生森下雄介さんの活動報告も行われました。

大根占小4年の川越穂香さんは「矢印や看板などがあるととっても分かりやすい。案内する人がいたらいいのでは」と話しました。



高齢者や認知症の方が訪れやすい役場に 大根占小児童が調査 町長へ報告

大根占小4年生24名と、ゆうゆうカフェのメンバーさんが一緒に役場を回り、高齢者や認知症の方がより訪れやすい役場にするためにもっと工夫すべき点等はないか、調査を行いました。児童たちは調査を通して気づいたことや改善策等をまとめ、町長へ提出。新田町長は「みなさんの意見を参考に、改善できるところはすぐに変えていきたい」と語りました。

今回の日本語教室には、フィリピン・カンボジア・ミャンマー・インドネシア・ベトナム出身の外国人が参加しました。



日本語教室で実践的な学びを 国籍を超えた交流の場

3月15日、今年度最後の日本語教室が開催され、町内に住む特定技能外国人・技能実習生19名が参加しました。カフェでの注文をテーマとした日本語学習や日本の歌を使ったリスニングなど、外国人たちは熱心に学習に取り組んでいました。学習の後はジェスチャーゲームやカラオケなども行われ、国籍を超えた交流が図られました。

田代中の土岐邦寿校長は「君たちには困難を乗り越える力がある。辛い時は田代中のキャッチフレーズ『やればできる』を思い出し、これからの人生を切り開いてほしい」と卒業生を激励しました。



町内2中学校の卒業式が3月11日に行われ錦江中39名、田代中13名の卒業生が仲間とともに3年間過ごした思い出の学び舎を巣立ちました。コロナ禍を経て大きく変化した環境に対応しながら、仲間とともに立派に成長した生徒たち。恩師や保護者などに見守られ、新たなステージへの第一歩を踏み出しました。

町内2中学校の卒業生が学び舎に別れ 感謝の想いを胸に 次のステージへ



4名の未来づくり専門員 活動報告会開催 これまでの取組とこれからの未来を語る

3月9日、4名の未来づくり専門員（地域おこし協力隊）による活動報告会が役場で行われました。町内外から集まった約30名を前に、4名の専門員はこれまでの取組や今後の展望などを発表。集まった方々から大きな拍手が送られました。3月末で退任する友井川愛さんは「今後も錦江町に残り、多世代が交流できる場を作っていきたい」と意気込みを語りました。



退任後、鳥井戸の空き家を活用し、地域交流スペースを立ち上げる予定の友井川愛さん。これからも応援をよろしくお願いいたします。

新たに錦江町から3名が入隊 自衛隊入隊・入校者壮行会

3月8日に鹿屋市役所で自衛隊入隊・入校者の壮行会が行われました。小泉防衛大臣によるビデオメッセージや現役隊員から激励の言葉が贈られると、入隊者は傾聴し、決意を新たにしていました。今回、錦江町からは3名が入隊されました。皆様のご活躍をご祈念いたします。



写真上段左から
皇中 宏明さん(海上自衛隊 小月教育航空隊 航空学生)
篠山 琉綺さん(海上自衛隊 佐世保教育隊 一般曹候補生)
篠山 音笑琉さん(海上自衛隊 佐世保教育隊 一般曹候補生)

新酒のワインは、巨峰やデラウェア、シャインマスカットなど6種類。屋外には、町内外の12の店舗が並び、賑わいを見せました。



2026年新ワインと地域のグルメ楽しむ 浜田農園ワイナリーマルシェ

3月8日、浜田農園でワイナリーマルシェが開催され、多くの住民が今年で3回目となる花瀬ワインを飲み比べたり、地元の美味しいグルメを楽しんだりしました。代表の濱田隆介さんは「今年のワインは、今までで一番の出来。町内だけでなく、町外からのお客様も多かったのが嬉しかった」と語りました。

